

第12回国立大学法人北海道教育大学教員養成改革推進外部
委員会開催要項

日 時 平成29年7月27日(木) 10:00 ~ 12:00

場 所 札幌駅前サテライト教室1

議 題

- 1 点検及び評価実施要項(平成29年度実施分)にかかる観点について
- 2 平成29年度委員会のスケジュールについて
- 3 その他

配付資料

- 1 前回委員会における意見の整理
- 2 点検及び評価実施要項(平成29年度実施分)の観点・観点の説明・
点検事項
- 3 平成29年度教員養成改革推進外部委員会審議等スケジュール(案)

前回委員会における意見の整理

※各委員の意見（次ページ以降記載）をもとに、テーマと内容を整理

テーマ：現在の学校現場が新任教員に求める、備えておいてほしい資質・態度・心構えや指導技術

○資質・態度・心構えが養成できているか。

- ・現実を踏まえた教育者としての倫理
- ・超絶繁忙感に対する心構え
- ・部活動を指導できる心構え
- ・学校現場における教員の年齢構成のギャップを踏まえ、自己成長する心構え
- ・外部との連携を為し得るための、適切に情報発信することにかかる心構え

○学校現場で求められる基礎的な指導技術が養成できているか。

- ・指導してくれる先輩がいない環境でも、しっかりと教科指導できる技術
- ・生徒指導（生活の乱れ、いじめ、不登校）における基礎的な技術
- ・特別支援教育に対応できる基礎的な技術
- ・道徳教育を実践できる基礎的な技術

○養成の状況

- ・実践力ある初任教員の養成のために、現在の学校現場に必要な資質、指導技術が養成可能な教育実習プログラムが構築できているか。
- ・教育実習後も学校現場の課題へ対応できる資質・指導技術の向上を継続して取り組むカリキュラムとなっているか。
- ・学校現場の経験豊富な教員を組み入れて、実際の実践に必要なポイントを教授する授業が開発されているか。
- ・学生が何度も教職倫理と向かい合い、また、教員としての将来のキャリア形成を考えることができるカリキュラムとなっているか。

テーマ：現在の学校現場が新任教員に求める、備えてほしい資質・態度・心構えや指導技術

要請区分	観点	観点の説明	観点の説明	点検事項
A	A-29-1 ・教育者としての倫理を身につける教育が行われているか。	社会一般では、各組織は、所属する職員に対し在職期間を通じて多くの研修を実施しており、その中でコンプライアンスは重要なテーマとなっている。そのような社会環境にあって、教員は他の職業と比較して、特に高い倫理観が求められるところであり、養成期間を通じてその基本となることを、現在の学校現場を取り巻く状況を踏まえて、修得させる必要がある。	現在の学校現場の運営状況には、以下の課題があり新任教員であっても直ちにこれらに対応することが求められている。 ・職務の繁忙 ・学校現場における教員の年齢構成のギャップ、担当教科の指導をできる先輩教員がいない状況、部活動の指導 ・外部との連携（適切な情報発信を含む） 上記の点について、養成期間において十分な体験と、ケーススタディによって態度・心構えを身につけることが求められる。	・授業の体系及び体系の各段階において身につけさせる内容について、授業科目（授業の目標を含む）・履修年次・必修or選択を含めて説明すること。その際、現在の学校現場の取り巻く状況をどのように取り込んでいるかの説明を含めること。また、観点に応える理由についても付記すること。
	A-29-2 ・新任教員として現在の学校現場の運営状況をよく理解し取り組むための、態度・心構えを身につける実践的教育が行われているか。	現在の学校現場においては、これらの課題に対応できる実践的な能力が教員ひとりひとりとりに求められる状況にあり、新任教員であってもケーススタディや実践によって基礎的な技術を身につけることが求められる。	現在の学校現場においては、教科の指導力とともに生徒ひとりひとりがもつ、これらの課題に対応できる実践的な能力が教員ひとりひとりとりに求められる状況にあり、新任教員であってもケーススタディや実践によって基礎的な技術を身につけることが求められる。	・授業の体系及び体系の各段階において身につけさせる情報・知識・技能について、授業科目（授業の目標を含む）・履修年次・必修or選択を含めて説明すること。その際、左記の各課題をどのように捉えているか、内容の説明を含めること。また、観点に応える理由についても付記すること。
	A-29-3 ・生活の乱れ、いじめ、不登校にかかる生徒指導、特別支援教育、道徳教育を実践できる基礎的な技術を身につける教育が行われているか。	実践力のある新任教員を養成するためには、養成の過程で実践性が担保されなければならない。教育実習は、まさにそのことを教授するための機会であるが、担保すべき内容が実習先で異なることがあってはならないし、内容について観点の1～3に求めたところが確保されなければならない。学校現場の課題と向き合った教育実習に関する考え方が設定される必要がある。また、教育実習後、その振り返りのもとにさらなる資質・指導技術の向上を継続し、実践力の養成を図る必要がある。	現在の学校現場においては、教科の指導力とともに生徒ひとりひとりがもつ、これらの課題に対応できる実践的な能力が教員ひとりひとりとりに求められる状況にあり、新任教員であってもケーススタディや実践によって基礎的な技術を身につけることが求められる。	・授業の体系及び体系の各段階において身につけさせる情報・知識・技能について、授業科目（授業の目標を含む）・履修年次・必修or選択を含めて説明すること。その際、生活の乱れ、いじめ、不登校にかかる生徒指導をどのように捉えているか、内容の説明を含めること。また、観点に応える理由についても付記すること。
	A-29-4 ・実践力ある初任教員の養成のために、このような学校現場の課題に向かい合った教育実習を構築できているか。また、教育実習後も学校現場の課題へ対応できる資質・指導技術の向上を継続しているか。	実践力のある新任教員を養成するためには、養成の過程で実践性が担保されなければならない。教育実習は、まさにそのことを教授するための機会であるが、担保すべき内容が実習先で異なることがあってはならないし、内容について観点の1～3に求めたところが確保されなければならない。学校現場の課題と向き合った教育実習に関する考え方が設定される必要がある。また、教育実習後、その振り返りのもとにさらなる資質・指導技術の向上を継続し、実践力の養成を図る必要がある。	実践力のある新任教員を養成するためには、養成の過程で実践性が担保されなければならない。教育実習は、まさにそのことを教授するための機会であるが、担保すべき内容が実習先で異なることがあってはならないし、内容について観点の1～3に求めたところが確保されなければならない。学校現場の課題と向き合った教育実習に関する考え方が設定される必要がある。また、教育実習後、その振り返りのもとにさらなる資質・指導技術の向上を継続し、実践力の養成を図る必要がある。	・教育実習の目標及び修得すべき事項並びに成績評価の方法を説明すること。 ・教育実習終了後に、これら資質・指導技術の向上を図る方法を説明すること。 ・教育実習を含め授業・教育課程の開発に、学校現場の経験のある教員の意見を組み入れているか、実績を説明すること。 ・また、観点に応える理由についても付記すること。
B	B-29-1 ・学校現場の調査により学校現場にある種々の課題を明らかにし、課題に対応した現職研修プログラム等の研究や開発が行われているか。また、現職研修等への支援が行われているか。	平成27・28年度の点検においては、現職研修を実施する側の課題としている事項を観点に大学の状況の報告を受けた。このたびは、大学の研究者の観点にある取組の状況を点検し、どのような課題認識がありそのような研究が行われ、どのような支援が行われているかを明らかにし、現職研修プログラム参画の仕組みについて検討を深める。	平成27・28年度の点検においては、現職研修を実施する側の課題としている事項を観点に大学の状況の報告を受けた。このたびは、大学の研究者の観点にある取組の状況を点検し、どのような課題認識がありそのような研究が行われ、どのような支援が行われているかを明らかにし、現職研修プログラム参画の仕組みについて検討を深める。	・各教員の、過去2年間に実施した調査の対象・研究の成果・成果の還元状況について説明すること。 ・各教員の、過去2年間の現職研修等への係わり（学校や教育委員会の研修のプログラム開発への参画、研修の講師や助言者としての参画、その他現職支援の取組）の状況について説明すること。 ・研究組織による、上記の取組状況について説明すること。 ・大学として、現職研修プログラム参画にあたり、教育行政（教育研究所含む）・学校現場・保護者や地域とどのような仕組み作りが必要と考えるか説明すること。

第12回
教員養成改革推進外部委員会
資料3
H29.7.27

平成29年度教員養成改革推進外部委員会
審議等スケジュール

平成29年7月27日現在

6月7日 第11回外部委員会：点検評価の方向性等

7月27日 第12回外部委員会：実施要項

○月○日 第13回外部委員会：実施要項

- ・点検評価開始（○月○日）
- ・点検の報告（○月○日）
- ・他大学視察（○○大学及び○○学校：○月○日）

10月○日 第14回外部委員会：規則第5条第1項に基づく、本委員会との意見交換の実施、評価・報告書の作成

- ・授業視察（○○校：○月○日）

11月○日 第15回外部委員会：評価・報告書の作成

- ・他大学視察（○○大学及び○○学校：○月○日）

1月○日 第16回外部委員会：報告書のまとめ

- ・評価の報告（1月末日）